



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
www.aioinissaydowa.co.jp

テレマティクス自動車保険で 「CO₂排出量の削減効果」を可視化する新サービスを開始 ～安全運転・エコ運転を促進し、カーボンニュートラルの実現へ～

2023年3月10日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、テレマティクス^{※1}自動車保険の契約者等を対象に、安全運転によって削減されたCO₂の排出量を独自のアルゴリズムで可視化する新たなサービスを、2023年度から開始します。

本サービスにより、削減量を身近に感じてもらうことでドライバー一人ひとりの安全運転とエコ運転を促進し、お客さま・地域・社会の皆さまとともに、カーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

※1 テレマティクスとは、「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載器と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組み

1. 背景

当社は、事故を起こさないお客さまにも「安全」という付加価値を提供し、「事故のない安全・安心なクルマ社会」を実現することを目指し、テレマティクス自動車保険の開発に取り組んできました。2018年4月にトヨタ自動車株式会社のコネクティッドカーを対象とする「タフ・つながるクルマの保険」の発売を皮切りに商品ラインナップを順次拡大し、現在のご契約台数は180万台を突破しています。

テレマティクス自動車保険では、「速度超過」「急加速」「急減速」の発生頻度に基づき安全運転の度合いを100点満点で数値化した「安全運転スコア」を提供し、スコアに応じて保険料を最大8%引きします。スコアが良いドライバーほど事故を起こす確率が低く、スコアの向上を意識して安全運転に取り組んでもらうことで、通常の自動車保険に比べて15%の事故低減効果を確認しております。

<安全運転スコアと事故頻度・損害率との関係>

安全運転スコア	90点以上	89～80点	79～60点	59点以下
事故頻度	7.6%	10.4%	12.8%	15.5%
損害率	37.8%	46.6%	57.6%	70.9%

また、この安全運転スコアはエコドライブの促進にもつながっており、スコアが良いドライバーほど車両の燃費（燃料1リットルあたりの走行距離）が良いというデータも出ています。

<安全運転スコアと燃費の関係（「59点以下」の燃費を「1」とした時の倍率）>

車両種類	100点	99～90点	89～80点	79～60点	59点以下
ガソリン車の例	1.24倍	1.19倍	1.13倍	1.09倍	1
ハイブリッド車の例	1.32倍	1.24倍	1.16倍	1.12倍	1

今般、テレマティクス自動車保険の契約者等を対象に、安全運転によって削減されたCO₂排出量を独自のアルゴリズムで可視化する新たなサービスを、2023年度から開始することとしました。

2. カーボンニュートラル実現に向けた新たなサービス

(1) 「テレマティクス技術を活用した交通安全イベント^{※2}」でのCO₂削減量の可視化【2023年4月開始予定】

地方公共団体で開催する「テレマティクス技術を活用した交通安全イベント」において、参加者の「安全運転によるCO₂排出量の削減効果」を可視化するとともに、地方公共団体にもイベント全体のCO₂削減効果をレポートするサービスのトライアル^{※3}を、2023年4月より開始する予定です。

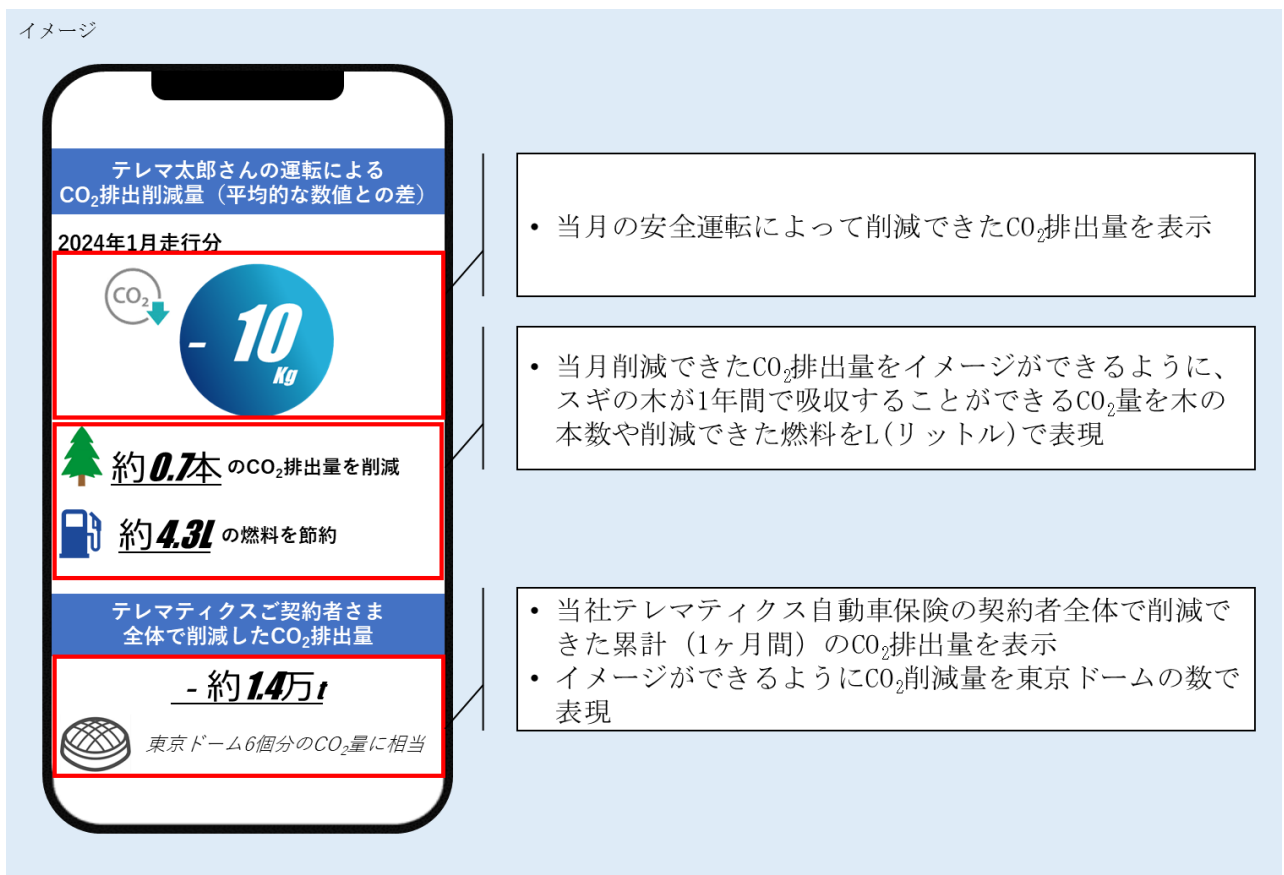
※2：当社と連携協定を締結している地方公共団体に専用のテレマティクスタグを貸与し、イベントに参加する住民の車両に取り付け、運転診断結果をドライバーにフィードバックします。また、イベント参加者同士によるスコアのランキング化等のゲーム要素で安全運転を促進するとともに、イベントで取得した運転挙動データを基に危険挙動頻発地点をマッピングした交通安全マップを地方公共団体へ提供します。2018年11月から実施し、これまでに全国で100回以上の開催実績があります。

※3：トライアルは、沖縄県宮古島市等、複数の地方公共団体で実施する予定です。全国の地方公共団体への提供が可能になり次第、別途ご案内します。

(2) テレマティクス自動車保険におけるCO₂削減量の可視化【2023年10月開始予定】

テレマティクス自動車保険の契約者を対象に、当社の安全運転スコアと燃費の相関性に基づき、「安全運転によるCO₂排出量の削減効果」を可視化する新サービスを2023年10月から開始します。

自身の安全運転によるCO₂排出量の削減量を可視化することで、契約者により一層安全運転・エコ運転に取り組んでいただくことを目指します。



(3) 企業(社有車)向けCO₂削減量の可視化【2023年度中に開始予定】

社有車を保有する企業にテレマティクスタグを貸与し、社有車の安全運転促進とともに、安全運転によるCO₂排出量の削減効果を算定し、企業へレポートするサービスの提供も予定しています。

3. 今後の展開

テレマティクス自動車保険は、当社が掲げる「CSV×DX^{※4}」のコンセプトを具現化する商品として、従来から提供する「事故の低減」等の付加価値に加え、新たに「環境保全」という価値を提供することで、社会課題の解決に向けてより一層貢献していきます。将来的には、東京大学との共同研究により、安全運転で削減したCO₂排出量に応じて生じる取引可能な環境価値を活用することによって、ドライバーへ対価を還元する仕組みの構築を目指します。

当社は、これらの取り組みにより世界のカーボンニュートラル達成に貢献するとともに、地球環境課題に対するテレマティクス技術の価値向上を目指します。

※4 : CSV…Creating Shared Value (社会との共通価値の創造)

DX… Digital Transformation (データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること)

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs (持続可能な開発目標) を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

